土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.2-明飛川	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21' 36.2658"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 1月25日～ 令和3年 1月26日	東経	132° 32' 58.9607"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 109.80m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	37° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1B / エンジン：ヤンマーNFD12 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図 (0 10 20 30 40 50 60)	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	108.20	1.60		礫混じり砂		暗褐	rd3		中～粗砂の砂を主体とする 径5cm以下の礫を20～30%混入する 細粒土分を10～20%含有する			19	1.15 1.45	8	6	5	19/300							1/25
2				花崗岩		黄褐			CL級岩盤 L=5～10cmの短柱状～柱状コアで採取する コア肌は粗い 亀裂面は暗褐色に変色している															
3						淡黄褐			亀裂面に沿って土砂を挟む															
4									部分的に風化が進行し細礫～土砂化する 部分的に径3cm以下の岩片～礫状コアで採取する															
5	104.80	5.00																						1/26
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								